



2024年12月5日 第2589回例会
12月第1例会

RI会長テーマ: The Magic of Rotary
「ロータリーのマジック」

本年度会長テーマ
「始めよう 誰かのために」

「疾病予防と治療月間」

◆ 会長時間 ◆

前橋会長



12月は「疾病予防と治療」月間です。ロータリーではマラリア、エイズ、アルツハイマー型認知症、多発性硬化症、糖尿病など、さまざまな疾病の予防と治療に携わっています。

また、貧困地域の人たちを対象にした聴覚、眼科、歯科検診も実施しています。疾病に対しては患者への直接的なサポートだけでなく、医療・保険インフラを向上させるプロジェクトの実施や疾病の拡散を防ぐための地域住民への啓発、怪我による身体障害を防止するプログラムの実施等、地域社会の対応力を高める活動も行っています。

しかし、クラブとして疾病や治療に関わる活動を行うには専門的な知識や技術が必要となります。素晴らしい奉仕プロジェクトのアイデアも知識や関係機関との連携、資金調達など様々な問題を解決しなくては実現することはできません。そこで、ロータリーにはThe Rotary Action Groupsというものがあります。これは特定の専門分野に関する知識や経験を持つスタッフで構成される国際的な機関で、ロータリアンやローターアクト、さらにロータリーの会員以外でもスキルを活かせる人であれば参加できるようになっています。2022-23年度には37,600人のスタッフによって活動が行われています。クラブや地区が奉仕プロ

ジェクトを計画し、実施する上で、彼らから専門的なアドバイスや、資金や物資の調達、プロジェクトのパートナー探し、補助金申請書の作成、プロジェクトのモニタリングなどの援助を受けられることで、効果的な奉仕プロジェクトが実現できます。

The Rotary Action Groups にはロータリーの7つの重点分野全てにおいて専門知識や経験を有する25のグループが存在します。各グループの平均メンバー数は1,030人、2022-23年度には1,244のプロジェクトの支援を行っています。複数地区共同のプロジェクトが283、単独地区でのプロジェクトが194、クラブのプロジェクトが604、ロータリー財団が資金提供するプロジェクトが85となっていました。支援したプロジェクトとして、例えば母子の健康グループでは、ナイジェリアにおいて救急の新生児のケアについて220人の医療従事者への研修、家族の健康・エイズ予防グループでは、家族の健康プログラムをザンビア・ジンバブエ・モザンビーク・タンザニア・マラウイ・コンゴの6カ国で実施し、20万件の無料の医療サービスを行っています。このように我々クラブの奉仕活動をバックアップしてくれる仕組みがロータリーにはあります。

専門知識が無いから、プロジェクトパートナーを探すのが大変だからと諦めていたアイデアもThe Rotary Action Groupsを利用すれば実現できるかもしれません。

国際ロータリー第2710地区グループ7 佐藤ガバナー補佐～インターシティミーティング参加のお願い～



会務報告 鈴木幹事



- ❖ ロータリーレートが1ドル150円（11月まで153円）に変更になりました。
- ❖ 2025年ロータリー国際大会（カルガリー）参加のお願い
- ❖ 次週12日例会は年次総会となっておりますので、多数のご出席をお願いいたします。
- ❖ 他クラブ例会変更リストを配布しておりますので、ご確認ください。
- ❖ 例会終了後、4階「アマリス」において12月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

委員会報告

プログラム・出席委員会

出席報告 大谷委員長

本日（12月5日・木曜日）

会員数	90名	出席者	77名
欠席者	13名	ご来客	1名
ご来賓	2名	ゲスト	0名
		計	80名

4週前の例会2024年10月31日・木曜日

出席率 100%



青少年・インターアクト委員会 香川(浩)委員長
2024-25年度RYLAのご案内



青少年交換派遣学生 月例報告書（11月分）

■ 八條 義公

- 健康状態
ホストペアレンツが風邪を引いていますが僕は元気です。
- 学校の状況
聞き取ることができるようになってきました。しかし、知らない単語が多いので会話が止まったりすることがあります。知らなかった表現などホストファミリーから教えてもらいました。
- ホストファミリーとの関係
日本語が通じるけど、ずっと日本語を喋らないように気をつけています。ホストマザーが日本人なので日本料理が食べられます。引越した日はウェルカムパーティーで鍋を食べました。ホストファザーはラグビーをやっているので一緒にテレビで見たりします。



- ホストロータリークラブとの関係
日本語で挨拶して下さるロータリーの方がいてとても嬉しいです。毎回少しスピーチをするのですが、そこでちょっとずつスムーズに話せるようになってきている気がします。
- その他近況等の報告
友達とジムに行って一緒に筋トレしたり、放課後一緒にバスケットボールの練習をしたり

しました。バスケットボールのトライアウトには受からなかったのでは違う新しいことを見つけようと思います。何人か新しい友達ができました。ランチタイムと一緒にバレーボールをしたりします。

22・23・24日に留学生のキャンプがありました。VISAの関係でカナダに遅れてきた人とも仲良くなれました。いろいろなアクティビティーをして、とても楽しい3日間でした。一学期の途中成績が出ました。



同好会報告

紫雀会 鈴木世話人

紫雀会11月例会は、21日(木)午後6時より立町の麻雀マックで行われました。

この日の優勝は、オブザーバーの高田さんが安定した麻雀をされ、見事勝ち取りました。準優勝は木本君が病み上がりパワーで復帰初戦を飾られました。3位は笹野君でした。

次回12月例会は、第3木曜日がクリスマス例会となっておりますので、12月12日(木)に日程を変更し、麻雀マックにての開催です。

会員記念日

祝 12月お誕生日おめでとうございます。
(7名)

隅田君	諏訪(浩)君	
新原君	土井(英)君	大本君
川西君	原君	



スマイルボックス SAA 古屋君



佐藤グループ7ガバナー補佐(金一封)

佐藤グループ7ガバナー補佐よりご厚志をいただいております。

新原君(自主申告・トリプル)

12月10日まで、年末交通事故防止県民総ぐるみ運動が行われています。

年末に向かって人や車の活動が多くなり、日の暮れも早くなります。歩行者や自転車にもよく気をつけて運転しましょう。

会員の皆様、社員やご家族の無事故、無違反を祈念して出宝します。

下岡君

広島経済レポート(青)によりますと、廃棄物処理業の下岡タイヤ産業はワイエムコンサルティングの支援を受け、中小企業版SBT(SBTiが認定するパリ協定に整合した温室効果ガス削減目標)認定を取得しました。自社での温室効果ガス直接排出量、間接排出量合わせて、2030年に22年度比42%削減を目指すそうです。

地球環境保全に向けて、独自の環境方針に基づく行動計画を遂行するとともに、廃棄物の資源化を推進し、カーボンニュートラル実現を目指すとなりました。

津村君

日刊工業新聞より2件発表させていただきます。

① このたび、戸田建設の技術の粋を結集した新社屋「TODABUILDING」が東京に開業されたそうです。耐震性能の高さや環境負荷の低減などに加え、低層部にはアニメや音楽などのポップカルチャーを紹介するミュージアムも常設されています。

② 戸田建設では、工場やオフィスビルでのロボット活用を提案するコンサルタント事業に

乗り出されました。コンサルティング事業の最初の成果は「長崎スタジアムシティ」への導入だったそうです。

🎭紫雀会 11月例会の優秀賞の方々

優勝はオブザーバー参加の高田さんでした。2位の木本君、3位の笹野君、ご出宝をお願いいたします。

🎭紫友会の皆様

男子ゴルフ国内ツアーで金谷 拓実選手が、今月1日の最終戦で賞金ランキング1位だった選手を逆転し、広島県出身ゴルファーとして初めての賞金王に輝きました。

あわせて日本ゴルフツアー機構（JGTO）は今月2日、東京で男子ツアーの表彰式を開き、金谷選手が最優秀選手賞に輝きました。

金谷選手は賞金ランキング、総合力を得点化したトータルポイント、平均ストローク、パーキープ率、パーオン率、トータルドライビングも合わせて、計7冠となったようです。

ゴルフを熱愛する紫友会の皆さん、広島県出身初の賞金王、金谷選手への祝杯の気持ちを込めて出宝をお願いいたします。

■ 卓 話



赤ちゃんの脳と心 (要約)

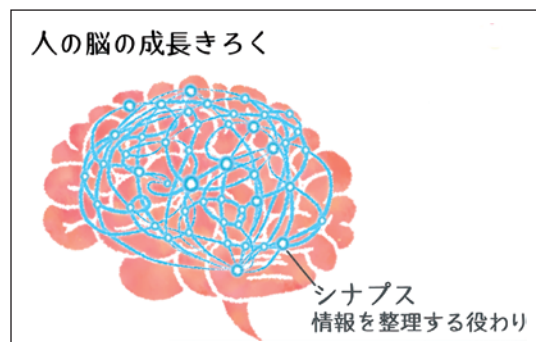
井原 俊彦君



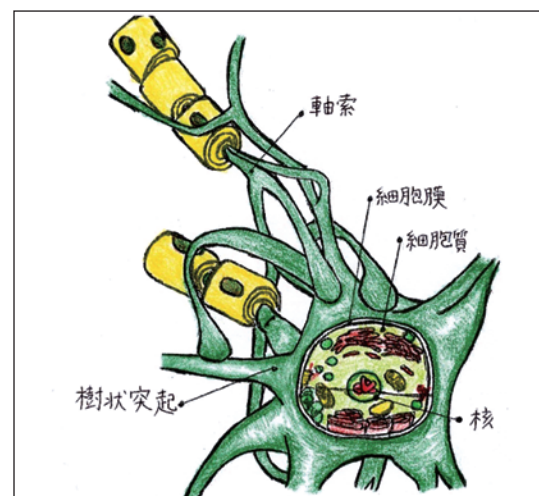
人間の赤ちゃんの脳と心についての珍しいDVDを手に入れたので赤ちゃんの脳の発達と心そして子育てについて説明します。

DVDで示したことをまとめると、

- ① 赤ちゃんは生後一ヶ月頃から相手の顔を見てものまねができる。
笑顔で接すると笑顔で対応し、無表情で接すると無表情となる。
生まれてからすぐある程度の判断能力がある。
映像のようにお母さんとコミュニケーションをとっていると心が発達する。
- ② 7か月の赤ちゃんはたった2秒遅れの合図であってもライブでないことが判り、人の表情を理解できる認知能力がある。
- ③ 生まれた時の赤ちゃんの脳は成人と同じ数の1,000億個ものニューロン（神経細胞）を持っており、神経細胞のネットワーク（回路）であるシナプスが図①のようなイメージで生まれる前に張り巡らされている。



図① 神経細胞のネットワーク

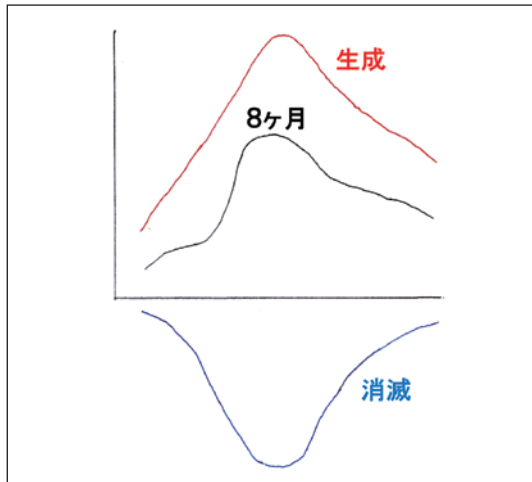


図② 神経細胞の形

神経細胞（ニューロン）は図②のように肝臓の細胞とか骨の細胞などと同じように細胞内小器官を持ち、多くの長い樹状突起がでており、奇怪な形となっている。この様に奇怪な形の神経細胞がシナプスという神経回路のネットワークを作って

情報を伝達している。

シナプスは生まれてからも作られ続けられており、回路の生成は生後8カ月がピークだが、図③の如く消滅してゆくシナプスもある。良い刺激により環境に適した回路と、より良い回路が残ってゆき、良い心を育む。



図③ シナプスの生成と消滅

以上、ミクロのレベルでの脳の状態即ち神経細胞とシナプスについて説明しましたが、ついでそれを肉眼レベルで示します。

我々は単純な細胞の塊から始まり、妊娠5～6週頃約1cmの胎芽となり、妊娠7～8週頃約1.5cmの胎芽となり、妊娠8～9週頃には約2cm大の胎児となり、妊娠13週（妊娠3～4カ月）頃には、6～8cm、さらに妊娠5カ月（20週）頃には18～20cmの胎児へと発育してゆく。

縦断像にして脳神経系をみると妊娠5週頃には脳神経系の管即ち神経管ができ、約2cm大きさとなった妊娠9週には大脳のふくらみが見え、妊娠13週頃には大脳がはっきりと大きくなり、小脳、脳幹が分かれる。

生まれた時には図④の如く脳の“しわ”即亀裂部（溝）と突起（回）は大人と同じようになっている。この中にさらに神経細胞のネットワークが築かれてゆく。



図④ 脳の溝と回

図⑤のように抱っこされたり、ほほえみかけられたり、キスされたり、話かけられたりすることで赤ちゃんは安心感を持ち、赤ちゃんと母親は心と心が結びつき愛着が形成される。



図⑤

【DVDで提唱されたよい子育ての5か条】

- ① 図⑤のような感じで目と目で見つめ合い、手と手で触れ合いほほえみかけ話しかける。愛情のコミュニケーションができ愛着形成となる。
- ② やさしい言葉で話しかける。怒鳴ったり、厳しい調子はダメ、暴言を聞かせたり夫婦喧嘩を見せると聴覚野の変形をきたし脳の発達が障害される。
0～2歳の間に放置されたり虐待されたりしていたら、喜び、悲しみ、怒り、恐れなど人間としての基本的な心の機能の発育が障害され、心の安定を司る大脳辺縁系がダメージを受け回復が困難となる。
- ③ ケータイやスマホに注意。赤ちゃんは映像にあった通り2秒遅れてもライブでないことを認知できるのでスマホは赤ちゃんが眠っている間に使う。
- ④ 一人で頑張らない。夫、両親にも助けてもらう。
- ⑤ 人には個性があるので、一人ひとりにあった子育てがある。全てを完璧にはできない。育児は自分を成長させる。

● 卓話予告

日時	テーマ
12/19(木)	夜間例会並びに家族同伴懇親会



例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 前橋 寛
幹事 鈴木 義尚

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索

